

英語力向上に向けて

～ 英語検定への挑戦を通じた取組例 ～

本資料は、生徒たちの英検等取得に向け、令和3年度に各学校で実際に取り組まれた事例から、県内の先生方にご紹介したい内容を目的別に整理したものです。

「生徒の学ぶ意欲を高める」「生徒の学びを支える」「生徒の次の学びにつなげる」視点を大切にし、今後の各学校での取組の参考にしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

1 生徒の学ぶ意欲を高めるために

1 挑戦の意義を説明

2 日程等の周知

- 学期当初、全校生徒に日程等（申込期間、受験日、受験料等）を周知

3 目標設定

- アンケートや個別の面談等で、各自が受験級を設定し、目標を明確化

4 雰囲気醸成

- 1年生から段階的に挑戦することで、「3年生になったら3級を受験する」という意識を醸成



2 生徒の学びを支えるために

1 授業内外において

- 毎時間書く活動を実施。生徒の書いた英作文はALTがチェックし、フィードバック
- 家庭で取り組んだ学習を教師がチェックし返却
- ALTによる1対1での模擬面接等、慣れるまで繰り返し実施
- 県教委作成の二次試験対策映像教材等の活用

2 ICTの活用

- タブレットに英検HPをリンクさせ、受験する級の過去問題を練習
- タブレットでのリスニング練習



3 生徒の次の学びにつなげるために

結果返却

- 一人一人へ結果を返却する際に、次の挑戦に向けた励ましの言葉かけ

※ 支援体制を学校全体でつくるために

1 受験料補助についての周知

- 受験料補助について、PTA総会、文書、通信等で生徒・保護者に周知
- 年度当初に、中3生徒全員受験の説明

2 職員の協力体制整備

- 試験監督、時間割、日程、スクールバス時刻の調整など

